企画展
「第18回 岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」展

リーフレット

チラシ

会　　期	2015 年 2 月 3 日(火)～4 月 12 日(日)
開催日数	59 日
主　　催	川崎市岡本太郎美術館 岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般 600（480）円、高･大学生 400（320）円 中学生以下 無料　※カッコ内は 20 名以上の団体料金
入場者数	13,072 名
1 日平均	231 名
図　　録	リーフレット A5 無料配布
ポスター	B2
チ ラ シ	長形ハガキサイズ
出品点数	27 点
担 当 者	佐藤玲子、木下紗耶子

展示風景

【開催趣旨】

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。

今年で18回目をむかえる本賞では672点の応募があり、創造性あふれる27名（組）の作家が入選をはたしました。また最終審査を経て、太郎賞1名、敏子賞1名、特別賞4名が決定。

21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧いただきました。

【受賞者】

岡本太郎賞： Yotta (ヨタ) 《金時》
岡本敏子賞： 久松知子 《レペゼン 日本の美術》
特　別　賞： 江頭誠 《神宮寺宮型八棟造》
特　別　賞： 藤村祥馬 《どれいちゃん号》
特　別　賞： 佐野友紀 《アウラの逆襲》
特　別　賞： 村井祐希 《〈Landscape－TOMIOKA〉》

Yotta (ヨタ)
《金時》

【関連記事・TV・ラジオ放送】

・「神奈川版 『石焼きイモカー』最高賞 第 18 回岡本太郎現代芸術賞展」『産経新聞』2015.2.3
・「TARO 賞に焼き芋販売カー 都内を走る現代アート『金時』 大阪府のユニット『ヨタ』の作品」『東京新聞』2015.2.3
・「焼き芋デコカー 美・力・味で爆発 岡本太郎賞に Yotta の『金時』」『朝日新聞』2015.2.7
・原圭介「アートクルーズ 挑戦し続ける次代の作品群『第 18 回岡本太郎現代芸術賞』展」『SANKEI EXPRESS』2015.3.16
・黒瀬陽平「『現代美術』を超えるもの 第 18 回岡本太郎現代芸術賞展」『美術手帖』2015 年 4 月号
・「N スタ」TBS テレビ 2015.2.10 ※Yotta≪金時≫の生中継
・「モーニングクロス」MXTV 2015.2.15 ※展示と Yotta のインタビュー
・「NEWS ハーバー」テレビ神奈川 2015.4.10 ※展示と Yotta のインタビュー

【関連事業】

■出品作家によるギャラリートーク

日程・作家 ：

2 月 15 日（日） 足立篤史、佐野友紀、林楷人、山崎広樹、
村井祐希、金藤みなみ

3 月 1 日 （日） 石山哲央、澤井昌平、牧田愛、Yotta（ヨタ）

3 月 21 日（土） 構想計画所、菊谷達人と四井雄大、藤村祥馬、
楢木野淑子、石塚嘉宏

4 月 5 日 （日） 杉山恭平、豊福亮、吾妻吟、江頭誠、
石井明日香

4 月 12 日（日） 森村誠、久松知子、三井淑香、的野真祐、
湯川洋康・中安恵一、平林貴宏

場　　所：企画展示室

時　　間：各日とも 14:00～

参加人数：各回とも約 50 名

■お気に入りの作品を選ぼう！

展示されている TARO 賞入選作品 20 点の中から、来館者にお気に入りの作品を選ぶイベント。受付でもらったカードに付いている赤いシールを、企画展出口にある投票ボードにシールを貼って投票します。

日　　時 ：2015 年 2 月 3 日(火)～3 月 22 日(日)

場　　所 ：企画展示室、ギャラリースペース

投票結果：1 位 ≪どれいちゃん号≫ 藤村祥馬
2 位 ≪神宮寺宮型八棟造≫ 江頭誠
3 位 ≪アウラの逆襲≫ 佐野友紀
4 位 ≪/8000000≫ 石井明日香
5 位 ≪キオクノユメ≫ 足立篤史

■手紙プロジェクト「言葉でつながろう！」

来館者が、第 18 回 TARO 賞展の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙にして発信しました。書くことによって展示作品や展覧会を身近に感じることができ、ギャラリーへの掲示やファイリングを通して、来館者、作家が共有した。作家からかえってきた返信もあわせて紹介しました。

日　　時 ：2015 年 2 月 7 日(土)～4 月 12 日(日)

場　　所 ：ギャラリースペース

■金藤みなみパフォーマンス―口にできないことと口に突き刺すこと

「ナードはいつでも トラブルに巻き込まれる。彼らが不適切な発言をするたび、「他者の苦痛へのまなざし」を持つ自分自身の気持ち悪さが私を突き刺す。それは憐憫みたいな感じだ。ヘイトスピーチを扱うのではなく、大量のヘイトを前に「口にできない」わたし自身を扱いたいのだ。それは同情だろうか。せめて sympathy でありたい。」

日　　時 ：2015 年 2 月 8 日、15 日、22 日、
3 月 8 日、15 日、22 日、29 日
4 月 2 日、9 日
各日　14:00～16:30

場　　所 ：企画展示室

■林楷人パフォーマンス―「管理・維持・鑑賞」

「管理者が所蔵品の維持行為をするときに、鑑賞者にとって最も鑑賞しやすい状態になる仕組みを持たせます。官学風の絵画と、それとは異なる方向性を持つ造形物とを同居させつつ、維持行為と観賞行為とを交錯させます。」

日　　時 ：2015 年 2 月 7 日、15 日、21 日、28 日
3 月 7 日、14 日、21 日、28 日
4 月 4 日
各日　11:00～、13:00～、15:00～

場　　所 ：企画展示室

■藤村祥馬パフォーマンス―どれいちゃん号を漕ぐ！

「作家が小学生に戻り、どれいちゃん号をひたすら漕ぐ！」

日　　時 ：土日・祝日　10:00～16:00

場　　所 ：企画展示室

■山崎広樹パフォーマンス――まつり（竹筒鳴らし・小石叩き・割板）

「命で埋め尽くされた空間の中で、竹筒を打ち鳴らし、石を叩き、木を割る！その手触りや香り、響きの中から来訪者が突然現れる！そして遊びやごっこみたいに生まれては消える小さな交流祭が始まる！自然に生まれる激しさと優しさに包まれた時を一緒に楽しみたい。」

会期中　土日・祝日　10:00～16:00（1 日 2～3 回）

※2 月 21 日は午前中のみ

■Yotta（ヨタ）パフォーマンス―金時のおいしい石焼き芋販売（里むすめ）

「Yotta(ヨタ)が焼き上げた、徳島県産最高級なると金時里むすめの石焼き芋を販売します。薪の火で暖められた小石の上で、じっくり時間をかけて丁寧に焼かれた石焼き芋は、優雅で奥深い味わいです。普段は東京都内の路上での販売ですが、土日祝の限定で岡本太郎美術館で販売します。第 18 回岡本太郎現代芸術賞限定金時缶バッチ付きで 700 円。※1 日限定 100 本。焼き上がりに時間がかかる為お待ちいただく事もあります。引換券をミュージアムショップで販売しています。」

日　　時 ：土日・祝日　12:00～17:00
　　《金時》は土日・祝日　9:30 から母の塔の脇に展示。
価　　格 ：700 円（缶バッチ、シール付）

【出品リスト】

No.	作家／作品名	素材・技法	作品サイズ（cm）	備考
1	Yotta（ヨタ） 《金時》	ミクストメディア	270×195×590	
2	久松知子 《レペゼン 日本の美術》	キャンバス、パネル、岩絵具、アクリル絵具、その他	290×480×3.5、 290×480×3.5	
3	江頭誠 《神宮寺宮型八棟造》	毛布、発泡スチロール	220×180×550	
4	佐野友紀 《アウラの逆襲》	キャンバス地にプリント、アクリル絵具	400×400×5cm×３面	
5	藤村祥馬 《どれいちゃん号》	鉄、マネキン、ランドセル、その他	230×500×300	
6	村井祐希 《〈Land scape－TOMIOKA〉》	油彩、石、セメント、キャンバス	264×584×10	
7	吾妻吟 《圭介》	サテン布、コンクリート、シール、スチレンボード	500×500×500	
8	足立篤史 《キオクノユメ》	ミクストメディア	370×120×140	
9	石井明日香 《/8000000》	布用絵具、綿布	400×360×345	
10	石塚嘉宏 《magnets》	磁石、砂鉄、板	10×300×300	
11	石山哲央 《時空遊戯》	陶、プロジェクター、新聞紙	500×500×500	
12	菊谷達史と四井雄大 《太陽と陶》	陶器、油彩画	200×500×100	
13	金藤みなみ 《プラモンスター》	コンクリート、樹脂、木材、鉄、羽、モニター、機材等	300×300×300	

No.	作家／作品名	素材・技法	作品サイズ（cm）	備考
14	構想計画所 《Ω》	紙、鉄パイプ、映像、写真、テキスト、その他	500×500×500	
15	澤井昌平 《風景》	キャンバス、アクリル、油彩	500×500×2	
16	謝花翔陽 《女、彫刻家、音楽、５、好運と蕩尽》	ミクストメディア	500×500×500	
17	杉山恭平 《20140823》	ケント紙、インク	500×500×3	
18	豊福亮 《Battledore》	石膏、造花、その他雑貨、金スプレー	360×150×50cm×2	
19	楢木野淑子 《そこに立つ、存在するⅣ》	白土、下絵具、釉薬、ラスター	300×500×500	
20	林楷人 《管理・維持・鑑賞》	岩絵具、膠、鉄骨	350×400×303	
21	平林貴宏 《montag》	写真、漂白剤	27.1 × 22.1 × 2.6cm × 252	
22	牧田愛 《Plastic Structures 不可解な現前》	油彩、インクジェットプリント	500×500×500	
23	的野真祐 《鴉溝鼠電柱塵高層建物汚川屏風》	鉛筆、紙、六曲一隻屏風	190×430×3	
24	三井淑香 《Hôtel Le Meurice》	綿布に油彩	227.3×363.6	
25	森村誠 《Airmailed Stamps（Promised Land）》	使用済みの海外の切手、針、糸	350×500×30	
26	山崎広樹 《木・石・竹と命を「カク」祭》	木、石、竹、障子紙、和紙、布	500×500×500	
27	湯川洋康・中安恵一 《豊穣史のための考察》	米、鈴、針、石、鏡、葉、糸、和紙、芯棒、天秤、羽根、ビーズ、木の実、五円硬貨、装身具	500×180×273	